

1. 授業の目的と概要

テーマ：アメリカサービス産業の産業組織と競争政策

テキスト読解を通して、現代アメリカサービス産業の実態と産業分析の方法を学ぶ。テキストは伝統的産業組織論の手法によって書かれている。

2. 学習の到達目標

- ・ 経済英語を一定の速度で読み、訳出できるようにする。
- ・ 産業の経済学的分析の考え方を身につけること。
- ・ 経済学的基礎の上に立った競争政策の考え方を身につけること。
- ・ サービス産業の現代的トピックについての論点を学び、実証的に考察すること。

3. 授業の内容・方法と進度予定

テキストから以下の部分を抜き出して読む。

James W. Brock, Preface（序文）

Peter J. Alexander, Music Recording（音楽レコーディング）

Philip G. Cottell, Jr., Public Accounting（会計事務所）

John L. Fizel and Randall W. Bennett, College Sports（大学スポーツ）

正確に理解することをこころがけつつ、できる限り内容について議論する。

4. 成績評価方法

- ・ 訳文をきちんと提出すること、内容に関する議論に参加することで平常点を評価する（50点）
- ・ 期末試験を行う（50点）

5. 教科書と参考書

教科書：Walter Adams & James Brock eds., *The Structure of American Industry*, 11th edition, Upper Saddle River: NJ, Pearson Prentice Hall, 2005.

参考書：W. アダムス & J. ブロック編（金田重喜監訳）『現代アメリカ産業論 第10版』創風社、2002年。教科書の旧版抄訳。今回対象とするケースは含まれていないが、伝統的産業組織論の考え方がよくわかる。

6. 予習と復習について

訳出と内容理解について、予習が必須である。

試験前には復習が必須である。

7. その他（履修の条件、連絡先、オフィスアワー等）

数学的手法は用いない。ミクロ経済学もしくはマルクス経済学の基礎を学んでいれば理解可能である。各種問い合わせは kawabata@econ.tohoku.ac.jp で受け付ける。オフィスアワーは開講後に指定する。